

～「子どもだけど大人」「大人だけど子ども」な人たちへのメッセージ～

LITTLE BIG

第 69 号 2020. 10. 27

発行：福島県立図書館 こどものへや

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

<https://www.library.fks.ed.jp>

【Pieces - かけらたち -】 本の中の言葉

当館の職員が読んだ本の中から、素敵な言葉、心に残った言葉を集めました。

みなさんの心にも届いたら、ぜひ手にとって読んでみてください。

◆「心配性の人はきらいじゃない。まわりの世界に心配や不安を抱くのは正しいと思うから。人生は心配と不安の連続だもん」

『どこまでも亀』（ジョン・グリーン／作 金原瑞人／訳 岩波書店 2019.4 p59）

◆「問題は、自分からは逃げられないってことだ」そして肩にかけたタオルをとって真四角にたたむと、おれの目の前につきだした。「あいにく、自分から逃げきれほど足が速いやつなんて、だれもいねえんだよ」

『ゴースト』（ジェイソン・レノルズ／作 ないとうふみこ／訳 小峰書店 2019.7 p78）

◆『美』とは、うつろいやすい自然や、人が創作したはかないものを、自由に受けとめることなんじゃないだろうか。

『アドリブ』（佐藤まどか／著 あすなる書房 2019.10 p206）

◆「それでもまだわたしにはわからないのよ、ヴィンセント。希望がいつ信仰に変わるのか、希望のない信仰ってなんなんだろうってね」

『フラミンゴボーイ』（マイケル・モーパーゴ／作 杉田七重／訳 小学館 2019.10 p245）

◆「自分が思っていることを大勢の人の意見のようにすり替えて、他人を自分の思い通りにできると思わないで！」

『きみの存在を意識する』（梨屋アリエ／作 ポプラ社 2019.8 p199）

◆胸がぎゅっと苦しくなった。

優しいって、褒め言葉なんだろうか。だけど、そのわりに私は誰かに優しいと言われるたびに苦しくなる。どうしてなんだろう。

『moja』（吉田桃子／著 講談社 2019.5 p48）

＼知っていますか？／



SDGsとは…

持続可能な開発目標のこと

Sustainable=持続可能な

Development=開発

Goals=17の目標

2015年に国連で採択された、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」。世界の国々が抱えている様々な課題に対し、2030年までに実現すべきことが整理されています。

「SDGs」は、各分野での目標を具体的に定めたものです。17のゴール（大目標）と、169のターゲット（小目標）があります。

SDGsのことがわかる本

『国谷裕子と考えるSDGsがわかる本』（国谷裕子／監修 文溪堂 2019.1）

『世界がぐっと近くなるSDGsとボクらをつなぐ本』（池上 彰／監修 学研プラス 2020.2）

『知っていますか？SDGs ユニセフとめざす2030年のゴール』（日本ユニセフ協会／制作協力 さ・え・ら書房 2018.9）



10月27日～11月9日は、読書週間です。今年の標語は「ラストページまで駆け抜けて」。ヤングアダルトコーナー(中・高校生・10代の方に向けに本を集めたコーナー)から本を紹介します。

『ビーカーくんとそのなかまたち この形にはワケがある！ゆかいな実験器具図鑑』



(うえたに夫婦／著 誠文堂新光社 2016.7)

みなさんが使用したことがあるものから、初めて聞くマニアックなものまで、100種類以上の実験器具をキャラクター化し、イラストで紹介しています。それぞれのキャラクターの特長がマンガやレーダーチャートで表されていて、楽しく実験器具を覚えることができます。



『わたしの外国語漂流記(14歳の世渡り術)』(河出書房新社／編 河出書房新社 2020.2)

中国語、スペイン語、サーミ語、ヤノマミ語…世界の様々な言葉と格闘した25人のエッセイ集です。言葉とそこに暮らす人の考え方や暮らし方、文化には密接な関係があります。世界を旅する気持ちで読んでみてください。



『ソングジュの見た星 路上で生きぬいた少年』



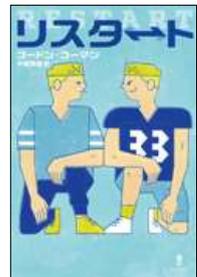
(リ・ソングジュ、スーザン・マクレランド／著 野沢佳織／訳 徳間書店 2019.5)

軍人の父、母と共にピョンヤンで、3人で幸せに暮らしていたソングジュ。ある日、突然ピョンヤンの外へ引っ越すこととなりますが、そこで待っていたのは、同じ国とは思えないほど劣悪な暮らしぶりでした。16歳のときに脱北した、著者自身の物語です。



『リスタート』(ゴードン・コーマン／著 千葉茂樹／訳 あすなろ書房 2019.7)

13歳の夏休みに、屋根から落ちて記憶を失ったチェース。凶暴だった性格もすっかり穏便に変わってしまいます。しかし「今」の自分で新しい友達を作ろうとしても、「過去」の自分が影を落とし…。チェースは新しい自分でやり直せるのでしょうか？



『ムーンレディの記憶』(E・L・カニグズバーグ／作 金原瑞人／訳 岩波書店



2008.10)

アメディオは、ゼンダー夫人宅の家財整理の手伝い中に、図書室でモディリアーニの絵画『ムーンレディ』を見つけます。ゼンダー夫人が「結婚記念の主人のプレゼント」と説明するその絵には、第二次世界大戦中に起こった悲劇も隠されていました。



職場体験の一環で、福島県立視聴覚支援学校の生徒さんに、『SNSトラブル連鎖 NHKオトナノベル』(高橋幹子、みうらかれん／著 NHK「オトナノベル」制作班／編 金の星社 2018.2)の本を紹介してもらいました。

この「NHK オトナノベル」のシリーズは、この他にも「リア友トラブル」「自分コンプレックス」等、皆さんの身近なテーマを取り扱っています。